

呼吸器外科

1. 概要

心臓と食道、乳癌を除く胸部疾患を対象としています。主対象の肺癌は死因の第1位で増加の一途をたどっています。ヘビースモーカーの多い団塊の世代が肺癌好発年齢の中心を占め、今後しばらく減少する気配がありません。

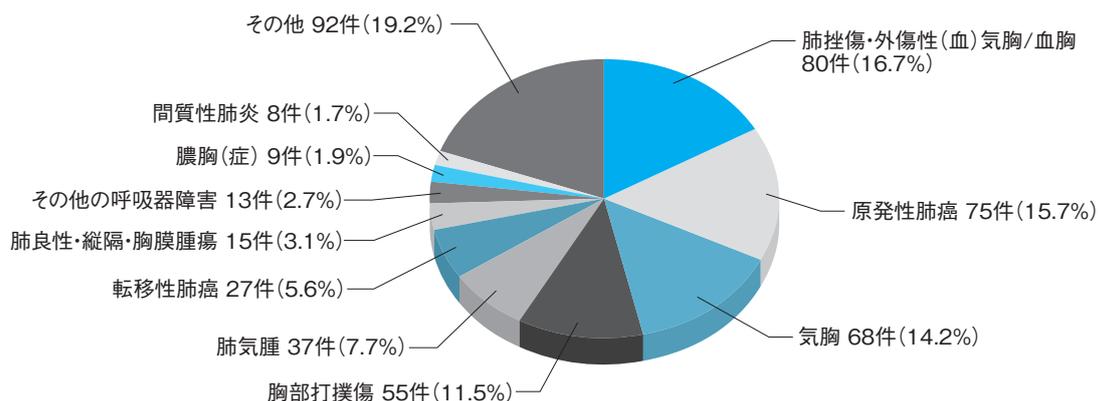
近年では胸腔鏡を用いて開胸創をより小さく、手術侵襲を軽減することで、標準的な肺癌手術でも、手術前日の入院から退院まで5～7日間の治療が可能です。残念ながら、定期健診を受けずに進行癌となってから来院されるケースもあり、すでにリンパ節や他臓器に転移していることも多く、再発の危険が増すばかりか抗癌剤投与や放射線治療の追加を要します。早期発見のため、無症状のうちに受ける住民検診等による定期的なスクリーニングが極めて重要です。

毎週定期的に呼吸器内科・放射線科と合同カンファレンスを行って、個々の症例についての治療方針を検討しており、各科と共同で治療にあたっています。

(部長 成田 久仁夫)

●疾患別頻度

総件数：479件



学会発表（医局）

<呼吸器外科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	発表年月日
1	一酸化窒素(NO)吸入にて酸素化の改善をみた急性呼吸不全症候群(ARDS)の2症例	筆頭演者	直海 晃	第41回日本集中治療医学会学術集会	2014/2/27
2	当科で経験したSolitary fibrosis tumor 3例の検討	筆頭演者	親松 裕典	第55回肺癌学会学術集会	2014/11/14

論文・著書 (医局)

<呼吸器外科>

No.	題 名	区分	氏名	雑 誌 名
1	Bochdalek孔ヘルニアと鑑別を要した横隔膜脂肪腫の1例	筆頭著者	直海 晃	胸部外科67(10)942-945
2	胸腺全洞が有効と見られた胸腺腫合併難治性口腔内苔癬の1例	筆頭著者	直海 晃	肺癌54(7)947-950
3	Complications of Bronchial Stapling in Thoracic Surgery	共同著者	Kunio Narita	World Journal of Surgery38:341-346